

守田有秋 （評論家、小説家）。明治十五年（二月十五日岡山縣生れ、昭和二十年一月二十八日歿（二八〇一）九四五）。本名文治。別號「涼天風」。守田橋外、有秋生、白峰生、鐵血生、鵲秋生等。明治二十四年東京專門學校中退。筆禍に遭ひ下獄二年餘。のち「ニハ新報」記者、「青島新報」主筆など。この間大正四年から十一年まで滞歐。

著譯書「自然と人」（明治四十二年一月七日鶴屋盛堂。再刊・大正八年六月）、「二十五日大盛堂書店城北書房」、「バーゲルマン作ワマガダー一名故郷」（譯

大正二年七月六日白吉堂本店「名著叢書」）、「一千一夜物語」（譯上卷・大正二年八月一日、中卷・二十八年白吉堂本店「名著叢書」）、

「イガセン作『蘇生の日記』」（譯、大正二年十月十八日白吉堂本店「名著叢書」）、

「セーキスピア作『オセロ』」（纂譯、大正二年十一月二十六日大川屋書店「名著叢書」）、

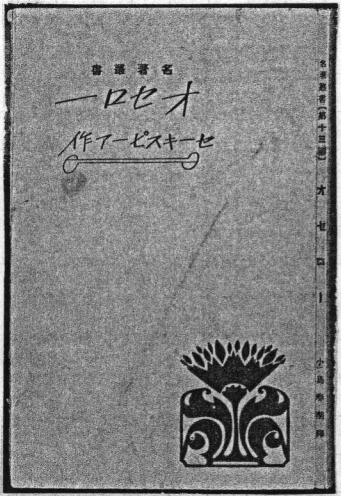
「瑞曲のり」（大正七年十一月十八日白吉堂本店）、「最近の獨逸研究」（合著・表

現社編、大正十二年一月十八日（松堂書店）、「破滅ぶう新生へ」（本名、大正十二年二月二十五日（曲書店）、「石心打たるゝ女」（大正十四年二月二十五日（人社）、「自然戀愛と社會主義」（大正十四年七月一日文化學會出版部「社會問題叢書」）、

「獨逸抒情詩集」（譯、大正十五年七月五日（紅十字堂書店）、「自由戀愛秘話」（昭和五年七月

十日（平九社）、「世界革命家全集・第四卷一女性編（世界革命婦人列傳）」（昭和五年十一月一日（解放社）、「社會主義運動史叢集」（昭和

六年一月一日（解放社）、「月刊社會科學選集」）、



十二年一月十五日(人文書院)等。

